

「報連相」が周りを楽にする

まだまだ、猛暑が続いていますが、皆さんいかがお過ごしですか。

7月の電力使用量は過去最高を記録したようです。

さて、皆さんにとって、「一緒に仕事をしやすい人」とは、どういう人でしょうか。

それは、周りの人への気配りのできる人、仕事の進み具合がよくわかる人、こうした相手のことを考えて仕事ができる人のことではないでしょうか。

例えば、こまめに仕事の進捗状況を報告してくれる。あるいは、仕事のうえで「今、何が問題になっているか」を早めに伝えてくれる。こうした周りの人の仕事への配慮、気配りができる人は、もちろん誰からも信用されます。ましてや、自分の仕事も細かいとこにまで行き届いた質の高いものになることでしょう。

いってみれば、一緒に仕事がしやすい人とは、「報連相」が上手な人ではないでしょうか。周りの人が楽になることを考えて、思いやりのある「報連相」を心がけることが、信頼されるために必要なことのように思います。

私自身、現場にいる時、一番嬉しかった事は、謝らなくてはいけない事、お礼をいわなければならない事、直さなければならない事、手伝わなければならない事、等々が現場からタイムリーに報告され、即座に行動し、お客さんから、ほめられた事です。やはり、私自身もお客さんのお褒めのことばが、活力の原動力でした。

現場も会社もほめられて皆の幸せを目指す。「報連相」はそのための大事な合言葉です。

まだまだ暑い日が続きますが、どうぞご自愛下さる様お願いします。

専務取締役 吉田治伸